

# 高齢化した知的障がい者の 支援機器を考える

～機能低下が自覚できずに起こるリスク～

全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表理事・事務局長

北海道社会福祉協議会 地域共生社会推進部長

中村健治

nken112@yahoo.co.jp

# 高齢知的障がい者の支援機器を考える

知的障がいに起因して“生きづらさ”を抱える知的障がい者が、加齢に伴う機能低下等を認識できない等で、**より日常生活に困難を抱えている**方が多くなってきており、病気や障がいの理解が不十分なために日常生活上のリスクも高まっています。また、知的障がい者の高齢化により、職員の日常的な関りも大きく変わり、特に、本人の意思決定の尊重が…。



むかし

いま



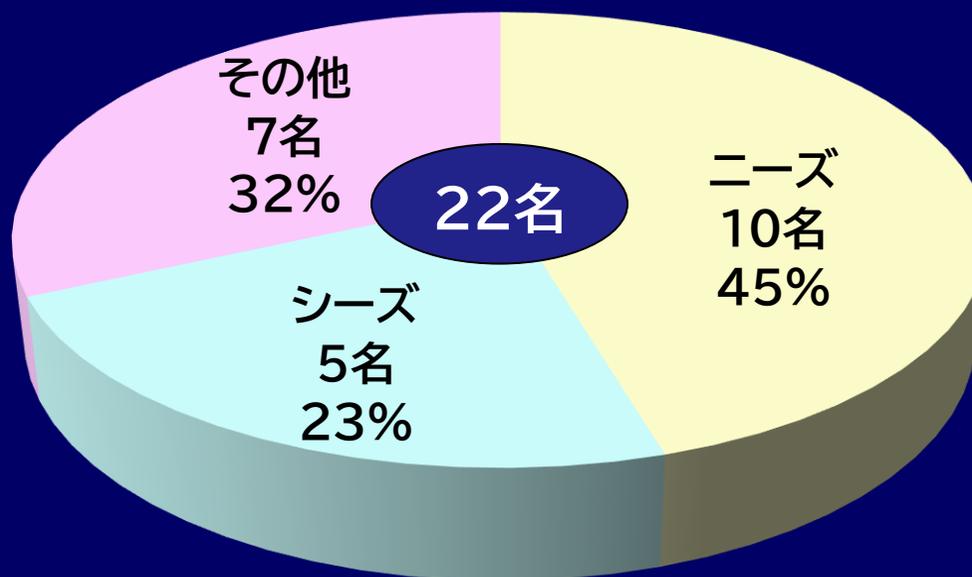
今回の「ニーズ・シーズマッチング交流会ATAサテライト北海道」では、自立支援機器に関わるニーズ側（使う人）とシーズ側（作る人）などの関係者が集い、高齢知的障がい者が抱えている課題を共有し、その解決に向けた具体的な支援機器のイメージを検討しました。

【開催】 10月6日（金） 9時30分～16時30分

【会場】 北海道小樽市／小樽経済センター

【座長】 全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表・事務局長  
北海道社会福祉協議会 地域共生社会推進部長  
中村 健治

## ATAサテライト北海道 会場参加者



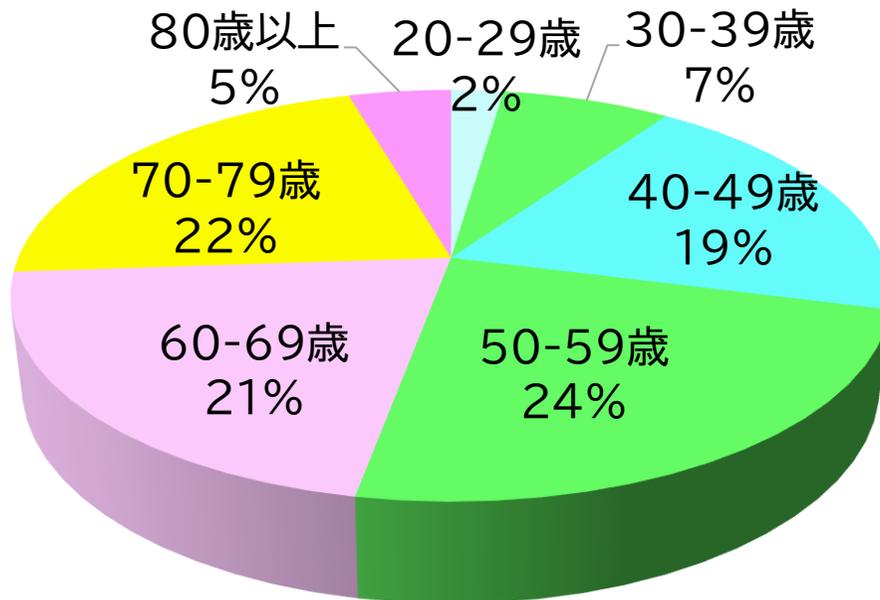
■ ニーズ ■ シーズ ■ その他

# 知的障がい者の高齢化

- **在宅知的障がい者の高齢化率は約10年で4倍に増加**  
2005（平成17）年：3.7% ➔ 2016（平成28）年：15.5%  
（「知的障害児（者）基礎調査」厚生労働省）

## 社会福祉法人 後志報恩会（3施設）

利用者の年齢構成(176名)



- ✓ 利用者の約5割が60歳以上となり、加齢に伴う機能低下の理解が難しかったり、事故等のリスクが高まっている。
- ✓ 障がい支援区分の平均は5.3で、支援内容も変化してきている。

# 高齢知的障がい者の支援機器を考える

加齢に伴う機能低下  
の認識ができない



病気や障がいの理解が  
不十分なため



日常生活上の  
リスクも高まる



本人の意思決定  
が難しくなる



安全・安心な生活  
の援助が課題



# 利用者Aさんの声

Q. 将来、足腰が弱くなり、車いすを使用するようになったら車いすを動かすことはできますか？

A. **できない！**



Q. 電動車いすでレバーなどの操作であれば動かすことはできますか？

A. **できない！言葉で操作ができればいい。**

Q. 今は、部屋のカーテンの開閉を同室の人がしてくれていますが、将来個室になったら、自分でできますか？

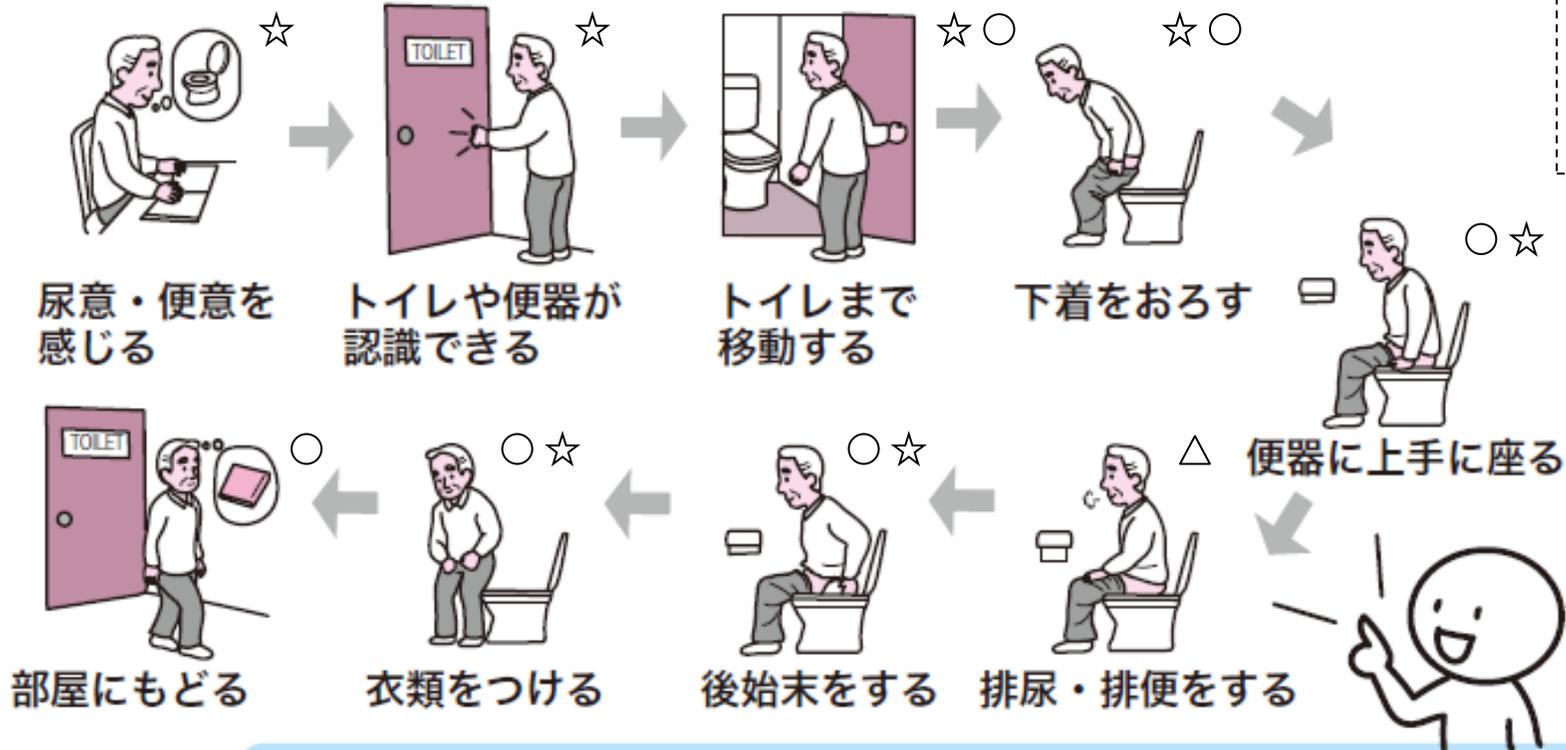
A. **できない！やっぱり言葉で動いてくれたらいい。電動で…。**



# 考えるヒント💡

## 排泄に組み込まれた日常生活動作

出典：日本コンチネンス協会



これらの動作の何が上手く行かずに問題が起きているのか、探ることが大切

自分ですっきりした感じが取れる そこに伴う機器があれば、環境設定を考える

これらの動作の何が上手に行かずに問題が起きているか  
探ることが大切

# 支援者側で困っている“あれこれ”

ユニットから食堂までの移動



人的コスト

自動運転があれば  
GPS 付き

鍵が開け閉め  
できない



音声で鍵を  
開けられれば

簡単な PC 入力できるものが欲しい  
音声入力  
インドネシア人の職員もいるので外国語対応も  
欲しい



排泄支援 夜中のオムツ確認



わざわざ起こしている

アレクサが声かけで  
カーテンを開けてくれる  
朝の声かけもしてくれる



病気で車いす—高齢で車いすの操作の理解は難しい、自走はできない操作の理屈  
仕組み自体がわからない



転倒・転落センサーを使ってもリスクを  
防げない。  
高齢で機能低下になり、気をつけるよう  
声かけするが、本人の動きがともなわない

タイムラグが間に合わない

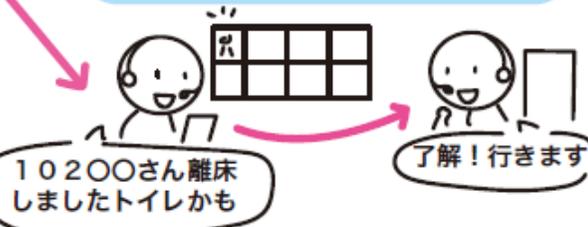
離床センサー



精神の方はマットセンサーを  
わざとよけてしまう

安全環境

人手の少ないなかでの見守りは  
見守りセンサーが必要かも



聞こえの保障

小さいと目駄々ない

ポケットに入れて  
忘れて洗濯してしまう



無くしてしまう



ヘッドホン  
のような  
補聴器が欲しい

# 知的障がい者施設の現状とこれから

お互いみんな歳をとる

利用者



病気・機能低下

職員



体力等の低下



人材確保



人の代替手段  
としての環境整備

利用者の状態像の変化

利用者



病気や機能低下  
等が理解や認識  
ができない

職員



新たな病気や機能  
低下の理解と介護  
技術の必要性

サービスの質の向上としての環境整備

福祉用具・機器等の活用

# 移動支援機器の提案

今日、高齢知的障がいの方が自分で車いすが使えないことを知りました。  
利用者は多様で、どれだけオーダーメイドにできるかがポイント。

フットサポート上げ忘れ  
下げ忘れのかけ忘れなど  
で転倒を防げる方法が  
あれば



リクライニング車いすで  
食事介助での誤嚥防止  
姿勢保持できる機種の提供

リクライニングも顔を見ながらできる

車いす音声操作  
イメージ



壁などの距離を明確に、  
壁に当たらないような  
センサー付き、音が声  
で警告



何センチ以上だと反応

車いすの姿勢が低いと  
恐怖心を感じるセグウェイ  
のような立つ姿勢で喋るの  
がいいのでは



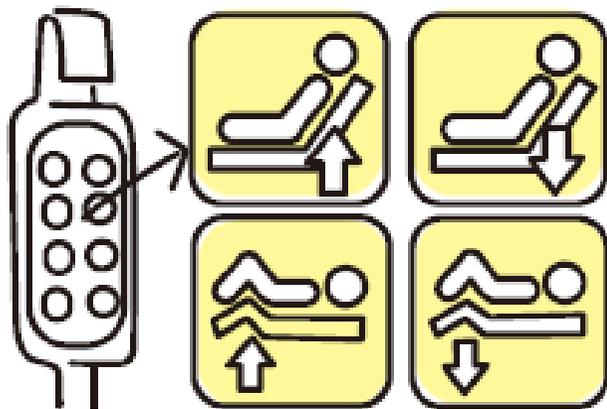
大学の先生でアメリカ製の  
立位保持できる車いすを  
使用



# 日常的な不便さへの提案

## ベットのスイッチ操作

普段は職員がやるがスイッチを文字でなく絵などでわかりやすく



音声機能—本人の音声での操作  
誤作動の問題

## リモコンの表示

テレビのリモコンボタンを間違えて押す  
自分の好きなマークに変え、間違えないように  
できれば、ドラえもん、ニュースマークなど



# 知的障がい者ゆえの“見えにくさ”への提案

自分の意思が相似  
できるアプリなどが  
必要かも

行きたい所へ

音声、文字でなく  
写真やナビで目的地まで案内してくれる



買物

写真で選ぶ商品  
をカゴに入れる

レジまで案内してくれる  
ロボットなど



お会計は  
こちらです



知的障がい者の生徒は高校卒業後

住む場所がない  
働く場所がない

知る手立てがわからない

就労支援の職員

朝・昼・晩の感覚 遅刻欠席  
体の痛みがわからない



新しいことが覚えられない  
最新機器の説明を何度され  
てもわからない

衣類の着方 - 認識

季節感がわからなくて  
暑い日に厚着で出かける



単独で外出できない

片付けられない方が多い

金銭管理買い物ができない



コミュニケーションができない

孤立している

# 知的障がい者“だから”という先入観？

ヒアリングフレイルー聴覚機能の衰え難聴によって周囲の関わりが大きく変化

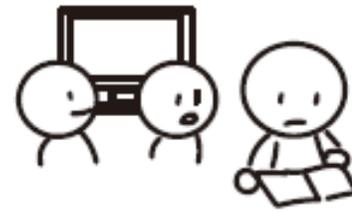


部屋に引きこもることが多くなった



以前よりも怒りっぽくなった

もしかしたら聴力の低下の影響かも



テレビを急に見なくなった



外出することがおっくうになった

高齢者の聞こえの知識がないことで本人も周囲も対策がないとあきらめてしまう

# 支援者Bさんの声



- 親も銀山学園に勤めており、小学校の遠足の場所が銀山学園で障がい者との関わりに違和感はなかった。家庭訪問として親の仕事を手伝って食事をして帰るということもあった。
- 大人になり銀山学園に就職し、入所者が高齢になって、やりたいことができなくなっている。知的障がいの方は認知症なのか知的障がいによるものかわからない。
- 水が大好きだったダウン症の方が、高齢になり入浴拒否をするようになり、もしかして認知症なのかなと行動を見ていかないとわかりにくい。
- 今まで、てんかん発作がない方が発作を起こした。アルツハイマー型認知症になっていたことがわかったが、知的障がい者の場合は症状が進んでからわかることが多く、認知症の発見が遅れる。

高齢の自閉症の人には半年に一度の認知症検査をしているが、認知症かどうかわかりにくい

# まとめ

- 職員は利用者に寄り添い本人の意向を汲みながら支援をおこなっていますが、知的障がい起因するものなのか、加齢に伴うものなのか分かりにくく、支援方法を工夫しているものの、難しい場面が増えてきています。
- また、気づきが遅れると、利用者は“困った人”になってしまう。「自分のやっていることが理解してもらえない」、「自分が理解できないのではなく、よく聞こえないだけなのに」、「自分で食べたいけれど、うまく食べられない」、「また、転倒している!!」と言われるが、ただ歩いて食堂に行こうとしただけなのに」など、本当は、“困った人”ではなく“困っている人”なのに…。
- 個々の溝を埋めるための環境因子として、福祉機器・テクノロジーは有効だと感じ…今日の話の中にたくさんのヒントがあると実感しました。

例) 移動支援機器としては、本人の意思を発した言葉や単語などの音声による操作と安全のためのセンサー、フットサポートの上げ忘れによる転倒防止の仕組みなど…